

## 屋内用ペロブスカイト太陽電池

株式会社エネコートテクノロジーズ  
堀内 保

### 1. はじめに

株式会社エネコートテクノロジーズは京都大学発のスタートアップである。

産官学連携の機運の高まりを受け 2015 年頃から京都大学において、大々的なスタートアップ支援スキームが整備され、その一環として 2016 年 11 月、事業化を目指す研究開発プロジェクトを起業前の段階から助成する制度「京都大学インキュベーションプログラム (IPG)」が創設された。自らの研究成果を製品実用化まで見届けたいとの思いを持つ京都大学化学研究所の若宮教授が、旧知の間柄である加藤（現代表取締役社長）に声をかけ、IPG 第 1 回公募セッションに応募、第 1 号案件として採択されたのが、エネコートテクノロジーズ誕生のきっかけである。以降、ペロブスカイト太陽電池の研究・開発を順調に進め、2018 年 1 月に法人設立（起業）、2019 年 1 月に京都大学イノベーションキャピタルの運営するファンドから出資を仰ぎ、事業開始に至った。京都大学若宮教授はエネコートの取締役も兼任しており、創業以来、京都大学とエネコートは非常に強い産学連携体制を継続している。京都大学は材料を中心とした基礎的な技術開発を行い、その技術をエネコートがデバイスに応用する。その結果を再び京都大学にフィードバックして基礎的な技術開発に役立てるサイクルを回し続けている。

### エネコートのミッション：京都大学発の技術を社会実装につなげる



#### 創業時より強力な産学連携体制を推進

図1 エネコートと京都大学の関係性

エネコートは、ペロブスカイト太陽電池の最初のターゲットとして室内向けの太陽電池ビジネスからスタートとすることを目指した。室内にて太陽電池を使用するアプリケーションとして、ソーラー電波時計や IoT (Internet of Things) センサーノードの電源として使用するケースが考えられる。あ